

共通テストまであと一ヶ月!!

2学期期末考査も終わり、3年生はいよいよ共通テストに向けて最後の追い込みに入ります。特別編成授業が始まり、2時間続きの演習を行う授業もあります。休み時間の取り方がクラスごとに違いますので、自分のクラスが休み時間だからといって他のクラスの迷惑になることのないよう注意しましょう。

1・2年生は、3年生の教室に近づくとピンと張りつめた空気を感じるのではないのでしょうか。来年・再来年は自分たちがその立場になるのだと考え、3年生の姿をしっかりと目に焼き付けておいてください。

〈3年生〉

1・2年生もぜひ読んで!

今後の心構え

1 受験までの準備をしっかりと!

① 志望大学の確認

これまでに実施された保護者面談や担任との相談を踏まえ、自分自身の志望校の再確認をしましょう。国公立大学については、共通テスト後に行われる三者面談を経て最終的な出願校を決定します。自身の共通テスト結果の想定されるケース（①おおむね良好な得点結果だった、②やや心配が残る結果だった、③思いのほか得点できていなかった、など）に応じて、出願先を複数用意しておいてください。出願までの短時間を慌てずに過ごすためにも、事前に準備しておくことで安心です。後期日程（中期日程）についても前期日程と同時に出願することを忘れないでください。

② 『受験スケジュール表』の確認

志望校の「学校名・学部名・学科名」、「受験方式」、「願書締切日」、「受験日」、「合格発表日」、「入学手続締切日」について、自分が作成した『受験スケジュール表』を確認しましょう。

③ その他の準備

- 志望校の願書取り寄せ（ホームページからダウンロードする方式の場合は、必ずプリントアウトしておくこと。）
- 調査書の請求（遅くとも1週間前までに担任へ申し込むこと。「交付願」には大学の「コード番号」も必須。）
- 会場までの行き方の確認（遠方の場合は、宿泊先の予約や交通手段の手配も必要。）
- 生活モードの切り替え（受験本番に合わせ、早起きの生活へシフト。）
- 持ち物の準備（受験票、筆記用具、昼食等。その他各大学の要項をよく読みこんでおくこと。）

2 効果的な学習方を!

① 受験科目と配点の確認

私立大学は、同じ学部・学科でも複数の受験方式があり、それによって受験科目も配点も違います。また、国公立大学は、共通テストと個別学力試験の総合得点で合否が決定するため、配点比率にも注意が必要です。自分の志望校について、以上のことをよく確認した上で効率的な学習計画を立てましょう。

② 共通テストに向けて

共通テストでどれだけ得点できたかによって、その後の受験計画が大きく左右されます。現在行っている特編Ⅰ期の授業では、各教科とも共通テストに向けた演習を中心にしています。これを十分に活用し、共通テストでは、自分の目標点を確実なものとしましょう。

③ 模試結果の有効活用

志望校の合否判定に一喜一憂するより、
「900点中あと〇〇点でB」に注目。

『あと何点、どの教科でとるか』

……改めて模試の結果を見て確認しよう。

〈例〉「あと80点か…よし、国・数・英で50点、
日本史と理科で30点上げるぞ！」

『**苦手科目ほど伸びは大きい**』

『**最後まであきらめない!!**』

〇〇大学 前期	
人文社会(募集人員180)	
ドッキング 判定 D	1次判定 D 900点中あと80点で B
集計偏差値 56.5	2次判定 D 600点中あと60点で B

**注
目
!**

3 効率的な時間の使い方を！

① 無駄な時間をなくす

例えば……

- 1本早いバスで登校するようになったら、座って行けるようになった。その結果、バスの中で英単語を覚える習慣が身についた。
- スマホを使うのをきっぱりやめた。その結果、勉強時間が1時間以上増えたとし、何よりも勉強に対する集中力が想像以上に高くなった。目の疲れも軽減された。

② 整理・整頓を心がけ、効率的な行動の手順を常に考える

必要なものを準備し忘れて、授業が始まってから慌ててロッカーに取りに行く。机やカバンの中が乱雑で、いつも何かを探している。このような無駄な時間は、大きな損失になります。身の回りをきちんと整え、頭の中をすっきりと整理し、情報を受け入れ行動を起こす、この一連の態勢を心がけましょう。

③ 授業に集中する

日々の授業は、最大の受験勉強であります。

④ 徹底した体調管理を！

「日中眠くなる」「頭がぼんやりして集中できない」「すぐに疲れてしまう」……こういう症状がある人は要注意！焦って睡眠時間を削っても、結局は勉強の効率を下げ、健康を害してしまうだけです。睡眠は受験生の健康にとって最も重要な要素と肝に銘じてください。これからの季節、風邪やインフルエンザにも十分気をつけなければなりません。「睡眠」とともに、「バランスの良い食事」「体を温めること」が免疫力を高めます。

もちろん、新型コロナウイルス感染予防のために、「手洗い、うがい、検温の習慣」は継続です。

4 最後まで「強い思い」「ひたむきな思い」を、みんなで持ち続けよう！

共通テスト対策の特編授業は、本番と同じ時間で、緊張感のある中で問題を解く練習です。みんなと一緒にやるからこそ効果があります。最後まであきらめず、直前まで得点を伸ばしていきましょう！

- ① 時間配分を意識する。 解答時間は最後まで集中して問題を解きます。
- ② 先生方の解説を耳と心で聞く。 答え合わせをして得点を出ただけで満足してはいけません。重要なヒントを聞き逃さないようにしましょう。
- ③ 復習する。 解説書を隅々まで読み、特に自分が間違った問題について、選んだ選択肢のどこがなぜ間違っているのか理解すること。納得できなければ、遠慮なく先生に質問してください。
- ④ 共通テストに向け、鉛筆に切り替える。 『受験上の注意』にも記してあります。また、解答スピードがアップするだけでなく、マーク解答が読み取られなかった、などのトラブル回避につながります。

〈2年生〉

進路についてもう一度考えよう

現在探究学習で大学・学部研究を進めているはずですが、まだ自分の進路の方向性がはっきりと決まっていな人、実はよく考えていない、という人は、この冬休みを利用して自分の進路についての考えをまとめてみてください。考えるべきポイントは、以下のとおりです。すでに進路希望を決めたという人も、もう一度しっかりと確認しましょう。

- ① 自分が興味・関心のある学問分野は何か。進学後に自分は何を研究したいのか。
- ② 将来自分が就きたい職業は何か。そのためにはどういった学問・資格が必要なのか。
- ③ ①・②の学問を研究するためにはどんな学部・学科を選べばよいのか。
- ④ ③の学部・学科が設置されている大学の中で、特に興味をひかれる大学はどこか。

以下の資料もぜひ参考にしてください。

- 各教室に置かれている『蛍雪時代』などの進路関係の情報冊子
- 進路指導室の様々な資料（利用する際は進路指導室の先生に声をかけてください）

注意！ 大学入試の難易度（いわゆるランキング）だけで志望校を決めるのは得策ではありません。自分がやりたいことをしっかりと見定め、それに必要な力を養っていく努力が大切です。

「受験まであと約1年」を意識して冬休みを過ごそう

冬休みは受験0学期。受験に向けた総復習をスタートするチャンスです。令和6年度共通テストまであと395日。時間を有効に使うために、事前にしっかりと学習計画を立てておきましょう。ポイントは2つです。

- ① 冬休みの課題は、できるだけ年内に終わらせ、冬休み後半の時間を有効に活用する。
- ② 苦手科目・分野を中心に、受験に向けて国語・数学・英語の総復習をスタートする。
→ まずは模試の結果から、自分が今取り組むべき教科・分野を考えましょう。

〈1年生〉

冬休みの学習計画を立てよう

冬休みは年末・年始にあたり慌ただしい時期ですが、これまで学習した内容を復習するチャンスでもあります。教科書の内容を100%理解し定着させることが、共通テスト対策の一番の近道です。時間を有効に使うために、冬休み前にしっかりと学習計画を立てましょう。

◎冬休みの課題に計画的に取り組む

冬休みの課題は、できるだけ年内に終わることができるよう計画を立てましょう。課題は各教科の先生方が皆さんの力が高まるように考えて出されています。ただ「やればいい」ではなく、「力をつけるぞ！」の気持ちをもって、しっかりと取り組んでください。そして、年明けには定着を確認する勉強に取り組みましょう。

◎これまでの復習に計画的に取り組む

冬休みには、課題の他にこれまでの復習にも取り組みましょう。まず、毎日の学習について振り返り定期考査や模擬試験の結果を見ながら、自分が何に取り組むべきかについて考えましょう。何か一つのこと集中して取り組むことをきっかけに、これからの学習の方針を見定めていきましょう。

● レポートがんばれ！ ～探究のススメ③～

『探究のススメ』シリーズも、今回で三回目です。これまでに、社会的視点の大切さ、探究的思考は普段の学習において身につくこと、普段の学びが実践の場であり鍛え続けることが重要であること、を確認しました。自分のテーマ探しのためにも、広い視野と探究的思考を土台として進路の活動を進めよう、といった内容でした。今回は、大学入学者選抜における主体性・協働性の評価ポイントを整理し、その対策を考えたいと思います。

最近の傾向として、面接の実施、調査書の点数化、活動実績報告書などの「志願者本人が記載する資料」の提出等を取り入れ、生徒の主体的な取り組みを入学選抜における評価対象に含めている大学が増えています。志願者本人が作成するため、自分の高校生活の具体的な背景情報が必要となります。その情報項目には、「探究活動」や「部活動、大会等」が挙げられます。もちろん、各種資格取得なども「主体的に」取り組んだ活動として含めることができます。このように、具体的な活動の内容を高校生活の中で蓄積していくことは、非常に大切です。ポートフォリオ、各種レポート等にしっかりと取り組み、活動記録等を適切にファイリングしていきましょう。

以下は、新潟県内の大学のうち、一般入試出願にあたり書類の提出を求める大学の一部についてまとめたものです。これまで、レポート等の提出は推薦入試等に主に見られたものでしたが、最近では、一般入試においても提出を求める大学が多いことが分かります。この傾向は新潟県内の大学に限ったことではありません。他の大学について、また、今回掲載した大学の詳細は、各大学のホームページや資料請求でチェックしましょう。

大学名	学部 (学科)	提出書類	主な内容
長岡技術科学大学	工	活動報告書	・高等学校における活動（「総合的な学習の時間」、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、各種大会・コンクール、留学・海外経験等） ・資格・検定等に関する活動
		志望調書	・志望理由 ・学校生活の抱負 ・将来の抱負 ・自分が優れていると思うこと など
新潟県立看護大学	看護	志望理由書	・志望理由（所定の用紙に自筆で記入）
新潟薬科大学	薬 応用生命科 看護	インターネット出願登録後に A4版の用紙にて入力作成	・これまでに「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をもって活動・経験していたこと （150字以上200字未満）
新潟青陵大学	看護	志望理由書・活動報告書	・これまでに主体的に取り組んだ活動 ・これまでに多様な人々と協働した活動 等
	福祉心理	活動報告書	・どのような目標を持って、何に取り組んだか ・取り組む中で出てきた課題をどのようにして乗り越えたか など
長岡崇徳大学	看護	志望理由書	・看護職を目指す理由及び本学を志望する理由
新潟リハビリテーション大学	医療	志望理由書	・志望する理由（志願票の裏面に志願者本人が自筆・横書き・600字以内で記入）

レポート作成には時間がかかります。しかし、情報が十分あり、書き方のルール等の知識がしっかりと身につけていけば、自分をアピールする材料になり得ます。本校では、総合的な探究の時間や各種活動の随所にレポートを課しています。小論文指導では自身の書き方のスキルを伸ばす取り組みを行っています。ぜひ、それぞれのレポートに前向きに取り組む、より良い文章が作成できるよう努めてください。

また、面接で「高校生活で特に力を入れたこと」について問われた際、「部活動」「学習」等の一般的な答え方ではなく、「総合的な探究の時間」の自分のテーマ設定が志望する学問系統に基づくものであったこと、探究活動を通して一層その分野への興味・関心が強まり、進路決定につながったことをアピールできたという受験報告もありました。自分の未来を拓くための活動として、能動的に取り組んでいきましょう。

